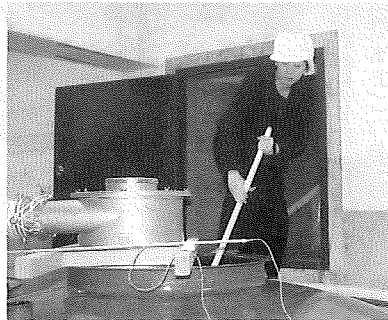


# お手伝いを通じて 飛驒市のファンを創出

## 渡辺酒造店で おてつたび(お手伝い+旅)

古川町若之町の渡辺酒造店(渡邊久憲社長)が「株式会社おてつたび」(本社＝東京)と協力し、二人の女性を受け入れた。二人は蔵人として十二月十七日から約一週



間、同店の蔵人の寮に宿泊して寝食を共にしながら酒蔵で酒造りを手伝った。「おてつたび」は、後継者や担い手不足で働き手が欲しい地域の人と、都会に住んでいるがどこかの地域の役に

立ちたいと考える若者がお手伝いをきつかけに出会うことで、その地域のファン関係人口を創出するマッチングサービス。これまで「おてつたび」先は宿泊施設が中心で、酒蔵での実施は全国初。社会人四年目で、転職の休憩期間に参加を決めた赤木紗菜さん、右上写真Ⅱは「初めてのことばかりで楽しく刺激的です。良い体験になりました」、大学二

年生の田中沙季さんⅡ左下写真Ⅱは「蔵人の皆さんの働く姿が格好良く、優しく指導してくださりありがたかったです。観光もできて魅力的な町だと思った。古川祭に来てみたい」と感想を話した。

同店の杜氏、北場広治さんは「年齢の高い男性の世界に若い女性加わり、空気が和むとともに女性ならではの目につく点や、改良点などを見つけてもらえれば、新しい風が入ることは良い



ことではと話していた。飛驒市地域振興課の上田昌子さんは「飛驒市ファンクラブを創設し、地域のファン作り積極的に取り組んでいる飛驒市と飛驒市観光協会が連携して取り組み、渡辺酒造店さん

の受け入れ快諾により実現しました」と話していた。今後も宿泊施設や介護施設で受け入れが予定されているという。